

## 令和5年度 4歳児 「発表会」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字、活動内容によって変えやすい箇所を網掛けにて示す。)

1. 期間 1月中旬～3月上旬

### 2. 設定の理由

昨年度、クラスで1か月近く1つのお話をもとにごっこ遊びをする発表会を1回経験してきている。その中で、自分のしたいことを選んだり意識してしようしたり、できるようになって嬉しいと思ったり、友達と一緒に動いたり歌ったりする喜びを感じたり、なりたい登場人物になって表現する楽しさを感じたりしてきている。また、友達と一緒に遊ぶ中で友達のことを知ったり、自分の気持ちを言葉や行動で伝えたりしてきている。また、発表会を迎える中で、たくさんの人に見てもらったり拍手をしてもらったりして嬉しい気持ちを感じたり、自分に満足したりしている。さらに、4歳児の発表会を見せてもらい、こんなことをしてみたいと憧れの気持ちをもって

いる子どももいる。

今年度の運動会では、少し難しいことに対してできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって繰り返し取り組み、できるようになった嬉しさや前より上手になった嬉しさや、役になりきって体を動かす楽しさや、皆で動きを合わせて表現する楽しさ、皆でお話の展開や設定を考えて遊びを作っていく楽しさを感じていた。11月から12月頃には、自分達で気の合う友達を誘い合って遊び始め、したいことを言ったり友達の話を聞いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいて。その中で、友達の様子を見たり、考えていることを見たり聞いたりして、すごいな、面白いな、などいろいろな友達の個性に気付いたりしていた。また、いろいろなごっこ遊びの中で、なりたいものを思い浮かべてなりきり、その役らしい言葉や話し方、動きをしたり、遊びに必要な物やその役らしくなるために必要な物を作って身に付けたり、友達と相談しながらお話の展開や設定を考えたりすることを楽しんできている。

3学期になると、前とは違う自分や頑張っているように感じたことに意識を向けることで、前との違いや成長を感じ、自信をもっていく。また、こまを回したい、長く回したい、こまを下敷きに乗せたい、狭い的にこまを投げ入れたい、紐に乗せて持ち上げたい、縄跳びで前とびの回数を増やしたい、ボールを上に向けて連続でキャッチできるようになりたいなどと具体的に目的をもって挑戦し、できるようになると次の目的を決めて挑戦していく姿が見られるようになる。その中で、友達の頑張っている姿やできるようになった姿を見て、すごいと思ったり、うまくいなくて困っている友達に気づき、助けてあげようしたりする。また、したい遊びによっていつもと違う友達と遊んだり、クラスみんなで遊んだりする中で、友達のよさや今まで知らなかった個性に気付くようになる。

発表会で、子ども達に身近な心情のお話を取り上げてごっこ遊びをすることで、登場人物の気持ちを感じて共感したり、登場人物の気持ちを感じながら、表情や言葉、話し方、動き方などを考えて表現したりすることができる。また、子ども達の考えを中心に、遊びやお話の流れや設定、動きなどを決めて進めていくことで、自分達で遊びやお話を作っている感覚をもったり、みんなで決めたことを一緒にすることを喜んだりする。これまでみんなで楽しんできた遊びを取り入れることで、もっとこうしてみたい、こうしたら楽しくなるということを、それぞれが考えを出し合いながら一緒に決めていくことができる。遊びの必要で物を作ることで、目的や用途を意識し、作るものを具体的に思い浮かべることにつながり、大きさや形、色などを考え、素材の特徴を生かして組合せ、描いたり作ったりすることができる。

そこで発表会では、具体的な目的をもち、それに向けて考えたり試したりしながら取り組み続けていけるように支えていきたい。そして、前とは違う自分を自覚して自信をもったり、さらなる目的をもち、取り組んだりしてほしい。また、お話を取り上げてごっこ遊びをする中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しんでほしい。そして、面白いことを考える、助けてくれて優しいなど友達のいろいろな個性に気付いてほしい。

### 3. ねらい

- ① いろいろな役をしたいと思ったり、なりたい役や頑張りたい役割を決めたりして、動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたいと考えたり、遊びに必要な物をどのように作りたいか考えたり、ボールやフープ、こま、けん玉などの挑戦したい技を決めてできるようにしたいと思って練習したりするなど、具体的な目的をもって繰り返したり試したりして取り組もうしたり、自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱ったりする。

自ら決める・選ぶ  
問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ② なりたい役になったり遊びに必要な物を作ったりして自分の考えたことができたことに満足したり、できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったりする。

自分に満足する  
自分を客観的に把握する
- ③ 上手くいかなくて悔しい、困ったなどと思った時に、自分の納得のいく方法を見付けて気持ちを落ち着かせたり、気持ちを立て直してやってみようとしたりする。

気持ちをコントロールする
- ④ いろいろな友達と体を触れ合わせたり、顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりしながら、クラスの友達みんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

他者という喜びを感じる
- ⑤ 友達が考えた動きを見たり、友達の言葉を聞いたり、友達の頑張っている姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、頑張りやよさ、困っていることやつまづいていることを感じたりする。

他者のことを知る
- ⑥ 友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようとする。

自分のことを伝える
- ⑦ 困っている友達に気付き、友達のために声をかける、待つ、励ます、教える、一緒に考えるなど、してあげたいと思うことをしようとする。

他者のことを考えて行動する  
問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑧ みんなでできごっこ遊びやお話に取り入れた遊びが楽しくなるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたこと、おかしかったことを言ったりして、自分のできることを考えてしたり、どんなものやことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その通りにしようとする。

人とものごとをすすめる  
問題を認識する  
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑨ 大勢の友達と動く時や道具を作ったり使ったり出したりする時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり、声をかけたりするなど、危なくないようにするなど、考えた方法を意識して動こうとする。

身を守る  
自分を客観的に把握する
- ⑩ ボールやこま、フープ、けん玉などの技に応じた姿勢や力の加減、体の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを感じたり取り組みながらつかんでいったり、それらをする楽しさを感じたりする。

身体を操作する
- ⑪ ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、紙粘土やハサミ、段ボールカッター、のり、筆、ローラー、タンポ、作った小道具や衣装、大道具、楽器などの特徴や性質を感じる。

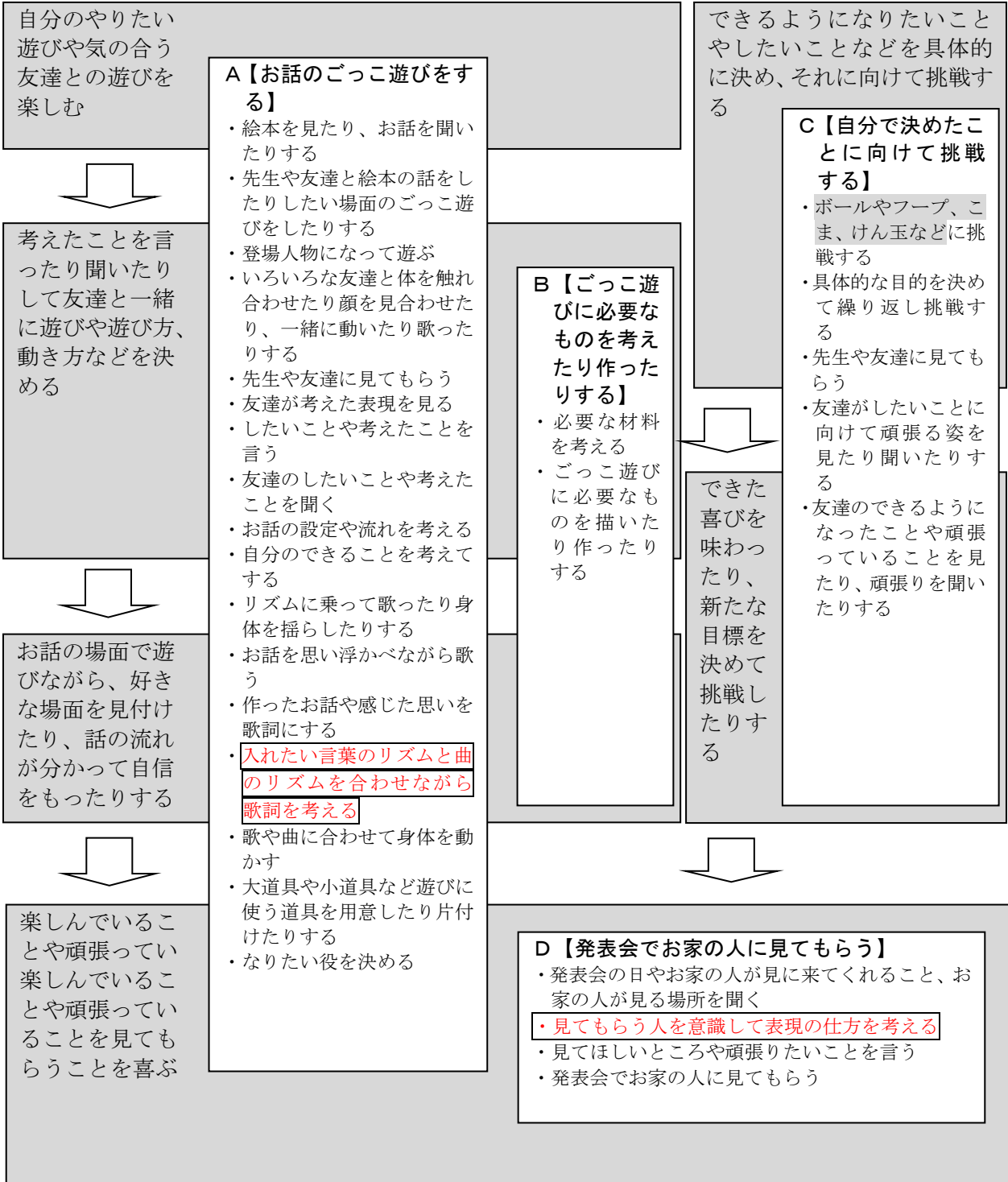
事物をみつめる
- ⑫ ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色、質感などを考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ。

造形に表す  
関連付ける
- ⑬ リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり楽器を鳴らしたり身体を動かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったり入れたい言葉のリズムと曲のリズムを合わせながら歌詞を考えたりする楽しさを感じる。

音楽に表す

- ⑭ 絵本を見たり、お話を考えたり、役になって遊んだりする中で、**キツネやタヌキの自分の気持ちを大切にすると、自分の気持ちに素直で諦めないところ、優しく思いやりのある気持ち、相手を認める気持ちなど**、お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちや**素敵**などを感じたり考えたり、友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作ったり、作ったお話や感じた思いを歌詞にする楽しさを感じたりする  
 文芸に表す
- ⑮ 登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でなりきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現したりする楽しさを感じる  
 身体の動きに表す
- ⑯ より役らしくなるように、**首飾りや尻尾、耳などの小道具**や**衣装を作ったり使ったり**役や場面に応じて身に付けたり、よりその場面らしく見えるように、**崖、家、木などの大道具**や**金槌、野菜、救急箱などの小道具**を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、自分達のしたいお話になるように挨拶や歌などを入れたり、見ている人に分かってもらえるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりする**など表現の仕方を考えたりやってみたりする**楽しさを感じる  
 演出に表す  
 問題を認識する  
 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑰ 見ている人に見やすかったり見えなかったりするように、**道具を隠したり置いたり立ったりする位置や向きを決めたり、変えたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする**  
 住空間を整える  
 問題を認識する  
 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

#### 4. 展開



| A 【お話のごっこ遊びをする】  |  |   |
|--|--|---|
| 予想される<br>子どもの活動  | ねらい  | *環境の構成 ◎教師の援助   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を見たり、お話を聞いたりする</li> <li>・いろいろな役になる</li> <li>・登場人物になりきって表現する遊ぶ</li> <li>・いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりする</li> <li>・先生や友達に見てもらう</li> <li>・友達が考えた動き表現を見る</li> <li>・したいことや考えたことを言う</li> <li>・友達のしたいことや考えたことを聞く</li> <li>・自分のできることを考えてする</li> <li>・リズムに乗って歌ったり身体を揺らしたりする</li> <li>・お話を思い浮かべながら歌う</li> <li>・歌や曲に合わせて身体を動かす</li> <li>・大道具や小道具など遊びに使う道具を運ぶ</li> <li>・なりたい役を決めてなりきって遊ぶ</li> </ul> | <p>○いろいろな役をしたいと思ひ、動き方や話し方、言葉、などについてこうしたいと考えてしてみようとする①</p> <p>○前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもちたり、なりたい役になって自分の考えたことができたことに満足したりする②</p> <p>○上手くいかななくて悔しい、困ったなどと思った時に、気持ちを立て直してやってみようとする③</p> <p>○いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう④</p> <p>○友達が考えた動きを見たり、言葉を聞いたり、友達の頑張っている姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、頑張りやよさ <b>困っていること</b>や<b>つまづいていること</b>を感じたりする。⑤</p> <p>○友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困った</p> | <p>◎いろいろな役をしたいと思えるように、いろいろな役を全員でする状況を作ったり、教師がいろいろな役を楽しむ姿を見せたりする。</p> <p>◎動き方、話し方、言葉などをそれぞれが考えられるように、考えてしていることを具体的に褒めて意識させたり、それぞれの考えた表現を褒めたりする。</p> <p>◎前と比べて変わった自分、頑張っているように感じた自分を感じられるように、前と比べてよくなっているところやこれまでの頑張りを具体的に言葉にして褒める。</p> <p>◎自分の考えたことを認めてもらえた嬉しさを感ぜられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらう場をもち、友達の見て感ぜたことを聞く機会を設けたりする。</p> <p>◎しまった、悔しい、困ったと思った時に、気持ちを立て直すことができるように、困っている気持ちを受け止め、待ったり、周りの友達と一緒に励ましたりする。</p> <p>◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、友達と体を触れ合わせたり、動きを合わせる必要があったりする遊びを取り入れる。</p> <p>◎いろいろな友達と一緒に遊ぶことを楽しいと思えるように、友達と一緒に自由に遊ぶ場面や友達を誘い合って一緒にする場面を作ったり、一緒にしている友達の名前を呼んだり、感ぜている嬉しい気持ちを言葉で伝えたりする。</p> <p>◎友達の考えを知ったり、友達のよさを感じたりできるように、考えたことを見合ったり、工夫している表現や頑張っていることを褒めて注目させたり、見て感ぜていることに共感したりする。</p> <p>◎友達の頑張りや頑張っているようになったこと、工夫していることを素敵だと思えるように、これまでの頑張りや考えていることを知らせたり聞いたりして注目させたり、何がどうよいか着目するところを知らせたり、頑張っているようになったことを見合う場をもちたりする。</p> <p><b>◎友達が困っていることやつまづいていること</b>を感じられるよう、友達の<b>困っている表情や行動に気付かせたり、何に困っているのか心配して尋ねる姿を見せたりする。</b></p> <p>◎自分の気持ちや考えたことを友達に伝えるように、友達の考えを聞いてど</p> |

ことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようとする。⑥

○困っている友達に**気付き、友達**のために声をかける、待つ、励ます、教える、**一緒に考える**などしようとする。⑦

○みんなですごっこ遊びや遊びに取り入れた**ルールのある**遊びが楽しくなるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたこと、おかしいと思ったことを言ったりして、自分のできることを考えてしたり、どんなものやどんなことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その通りにしようとする。⑧

○大勢の友達と動く時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり声を掛けたりするなど、考えた方法を意識して動こうとする。⑨

○リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったりする楽しさを感じる。⑩

○みんなで作る歌に入れた**言葉や内容を考え、曲**

う思うのか尋ねたり、具体的な言葉に言い換えたり、言葉を足したり、相手に伝わったか一緒に確かめたりする。

○友達のためにできることをしようとするように、困っている友達の姿を知らせたり、困っている友達のためにできることを一緒に考えたり、待つてできそうな時は、待つてあげてを提案したりする。

○それぞれの考えていることがわかるように、実際に動いて見せてもらったり、みんなで動いてみたりする。

○自分のできることを考えたり、必要だと思ふことを一緒にしようと思えるように、声をかけあったり、合図を出したりして動いていることのよさを具体的な言葉にして褒める。

○したいことや考えたことを言ったり聞いたりしながら一緒に考えられるように、考えるポイントを絞って話し合いをし、友達の考えに対してどう思うのかやその理由を聞いたり、考えが合わない場合は、自分はどうしたいのかを聞いたりする。

○遊び方**やルール**を友達と一緒に考えて決めていけるように、これまで楽しんできた**簡単なルールのある**遊びを取り入れ、もっとうしろしたらいと思うことや困ったこと、おかしいと思っていることを聞き出したり、それに対してどう思うのかを投げかけたりする。

○どうすると危ないか、何が危なかったか考えられるように、どんな状況になっていたか知らせたり、危ないと感じたことやどうすると危ないかを尋ねたりして、一緒に考えたり、振り返ったりする。

○考えた方法を意識して動けるように、方法を事前に確かめたり、意識していることのよさを言葉にして褒めたりする。

○リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたりするように、いろいろなリズムやテンポ、雰囲気の曲を選んだり、テンポを変えて演奏したり、メロディーをはっきりと正確に歌ったり、感じて歌ったり身体を動かしたりする。

○歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌えるように、歌詞の意味や込められた気持ちを知らせたり、お話の中で子ども達が感じている気持ちや楽しんでいることを聞きながら、歌詞を作ったりする。

○**曲のリズムに合わせて言葉を選んだり入れる場所を考えたりしながら歌詞を考え**

のリズムに合わせてながら  
歌詞を考える楽しさを感じ  
る

○絵本を見て、キツネやタ  
ヌキの自分の気持ちを大  
切にすると、自分の  
気持ちに素直で諦めない  
ところ、優しく思いやり  
のある気持ち、相手を認  
める気持ちなどお話それ  
ぞれの場面の様々な登場  
人物の気持ちや素敵など  
ころを感じたり考えたり  
する⑭

○友達や教師と一緒に場面  
や設定、展開を創造して  
お話を作ったり、作った  
お話や感じた思いを歌詞  
にする楽しさを感じたり  
する⑭

○登場人物の気持ちや性  
格、具体的な場面を感じ  
たり思い浮かべたり、友  
達の表現を取り入れたり  
しながら、その役らしい  
表情や言葉、話し方、動き  
方でありきって表現した  
り、歌や曲から感じたこ

る楽しさを感じられるよう、リズムを取  
りやすい曲を選んだり、みんなで作った  
物語を振り返って入れたい内容や言葉を  
尋ね、曲のリズムと言葉を合わせながら  
歌ってみたり、それを聞いてどう思うか  
尋ねたり、他に合う言葉や場所がないか  
一緒に考えたりする。

\*感じてほしい登場人物の気持ちを感じら  
れるように、日頃から子ども達と共有し大  
切にしてきている心情と結び付ける言葉  
をかける。

\*繰り返しお話を見たり読んだりしてお話  
の面白いところ、好きなところを見付けたり  
心情や場面、動きを思い描いたりできる  
ように、取り上げるお話の絵本を複数冊置  
く。

◎登場人物の気持ちを感じられるように、心  
情が強く表れている部分は気持ちを込め  
て強調して読んだり、ごっこ遊びをする中  
で、役や状況を思い浮かべながら体感でき  
る状況を表す言葉をかけたり、子どもと同  
じ役や相手役になりきって状況に合った  
言葉を言ったり、それぞれの場面での気持  
ちを一緒に考えたりする。

\*同じお話や登場人物でも少しずつ異なる  
内容や設定、展開があることに気づき、自  
分達でお話を作っていきかけとなる  
ように、同じシリーズの絵本や同じお話で  
作者が違う絵本、同じ題材の違う絵本など  
を一緒に置いておく。

◎場面や設定、展開を創造してお話を作る楽  
しさを感じられるように、教師が自由に想  
像して考えた場面や設定、展開を言葉にす  
る姿を見せたり、自由に発想して提案する  
姿を受け止め、一緒になって発想すること  
を面白がったりする。

◎作ったお話や感じた思いを話しながら歌  
詞を考える楽しさを感じられるよう、どん  
な話にしたか振り返ったり、どんな言葉、  
順番だと伝わりやすいか尋ねたり一緒に  
考えたりする。

\*全員でお話作りを積み重ねられるように、  
出てきた考えや決めたことを文字やイラ  
スト等にかき留め、いつでも見られる所に  
置いておく。

◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべら  
れるように、情景や状況を伝えたり、同じ  
役や相手役になって話しかけ思い浮かべ  
ていることを引き出したり、場面に合った  
音やBGM等の音響をかけたりする。

◎登場人物の気持ちを感じながら表現でき  
るように、心情の表れている言葉を取り上  
げて話したり、登場人物の気持ちを一緒に

とを身体で表現したりする楽しさを感じる⑮

○より役らしくなるように、首飾りや尻尾、耳などの小道具や衣装を作ったり使ったり役や場面に応じて身に付けたり、よりその場面らしく見えるように、崖、家、木などの大道具や金槌、野菜、救急箱などの小道具を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、自分達のしたいお話になるように挨拶や歌などを入れたりする楽しさを感じる。  
見ている人に分かってもらえらるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりするなど、表現の仕方を考えたりやってみたりする楽しさを感じる⑩

○なりたい役を決めて、その役らしい動き方や話し方、言葉などを考えてなりきるようとする①

考えたり、同じ役や相手役になって表現して見せたり言葉や動きで状況を作って引き出したりする。

- ◎歌や曲から感じたことを身体で表現できるように、歌のリズムやテンポ、メロディ、曲調、歌詞といった要素を言葉や動き、表情等で知らせて意識化したり、動きのよさをそれらと結び付けて褒めたりする。
- ◎役や場面らしくなるように道具の必要を感じられるように、道具の存在が際立った場面が変わったりする状況でごっこ遊びをしたり、必要に感じて提案したり、作ったりする姿をよりらしく見えるよさを言葉にして褒めたりする。
- ◎道具を役や場面らしくするために作ったり使ったりする楽しさを感じられるように、作ったり使ったり使っているのを見たりした感想を尋ねたり、教師が感じたよさを言葉にして知らせたりする。
- ◎自分達のしたいお話にしようとして挨拶や歌などを入れる楽しさを感じられるように、始めや終わりといった演出を考えやすいポイントを意識して言葉にしたり、これまでの経験からの考えを取り上げたり広めたり、考えを提案したりする。
- ◎見ている人に分かってもらえらるように表現の仕方を考えたりやってみたりする意識して表現する楽しさを感じられるように、大きな声やはっきりとした表現、体の向き等子どもがしている表現を受けて表現したいことがよく伝わったことを知らせる。
- ◎なりたい役を決めてしたいことを考えたり取り組んだりするなりきるようとするように、一人一人にどの役がしたいか尋ねたり、こだわって選んだりなりきったり考えたりしている姿を具体的に褒めたりする。

**B【ごっこ遊びに必要なものを考えたり作ったりする】**

| 予想される子どもの活動   | ねらい   | *環境の構成 ◎教師の援助  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な材料を考える</li> <li>・ごっこ遊びに必要なものを描いたり作ったりする</li> </ul> | <p>○遊びに必要な物をどのように作りたいか考え、試しながら作ろうとする①</p> <p>○自分が思うような物ができたことに満足する③</p> | <p>◎作りたいものを具体的に思い浮かべて作ることができるように、考えていることやどんなことに使うかなどを尋ねる。</p> <p>◎作りたい思いにこだわって作れるように、どんな物が作りたいのかを尋ねたり、作っている過程でも目的を振り返ったり、目的に向かっている姿を具体的に言葉にして褒めたりする。</p> <p>◎思うような物ができたことに喜べるように、工夫したところを聞いたり、教師が素</p> |



|  |  |   |
|--|--|---|
|  | <p>○ごっこ遊びに必要な物を作る中で、どうすれば安全に使えるのか考えてしてみようとする⑨</p> <p>○ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、ハサミや段ボールカッター、のり、筆、ローラー、<b>タンポ</b>、作った小道具や<b>衣装</b>、大道具、楽器などの特徴や性質を感じる⑩</p> <p>○ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色、<b>質感</b>などを考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ⑪</p> <p>○自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱おうとする。①</p> | <p>敵だと思うところを具体的に伝えて褒めたりする。</p> <p>◎使い方によっては危ない道具であることを知り、安全に使うためにどのように使おうか考えてしてみようとするように、安全に使った方がよい道具の特徴を言葉にしたり、自分で考えて安全な扱い方をしていることを褒めたりし、考える機会を設ける。</p> <p>◎段ボールカッターを前後に動かすと切れやすいこと <b>ローラーで塗った時と筆で塗った時の色や模様の違いがあることなど、やタンポは淡い色付けができることなど、</b>道具の特徴や性質を感じられるように、使う中で感じていることを尋ねたり、教師も一緒になって性質や特徴に驚いたり面白がったりする。</p> <p>*思い浮かべた物を自ら考え選択しながら作れるように、どんな形、大きさ、色、質感の物が必要なのか聞きながら、それがかなう複数の材料を用意する。</p> <p>◎大きさや形、色、組み合わせ方を考えながら作れるように、工夫しているところを褒めたり、他の友達の工夫を見せて刺激を与えたりする。</p> <p>◎好きな場面や強く感じた思いを思い浮かべて描いたり作ったりできるように、描いたり作ったりする前にお話や遊びを振り返ったり、絵や作品から実際にお話しや遊びの中で出てきたり感じていたりした思いと結び付けて言葉にしたりする。</p> <p>◎作った作品に思い入れをもち、大切に扱おうとするように、これまで頑張ってきたことや、その作品のよさを具体的に言葉にしたり、雑に扱って壊れそうになってきている状況を伝えたりする。</p> |
|--|--|---|

| C【自分で決めたことに向けて挑戦する】  |  |   |
|--|--|---|
| 予想される子どもの活動  | ねらい  | *環境の構成 ◎教師の援助   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な目的を決めて挑戦する</li> <li>・こま回しをする</li> <li>・フープを回す</li> <li>・ボールを使って様々に体を動かす</li> <li>・縄を使って様々に体を動かす</li> </ul> | <p>○ボールやけん玉、こま、フープなどの挑戦したい技を決めてできるようになりたいと思い、繰り返したり試したりして取り組もうとする①</p> <p>○ボールやけん玉、こま、フープなどの技に応じた姿</p> | <p>*具体的な目的をもち、意識し続けられるように、何をどんな風にしたいのかを聞き、文字やイラストでかき記し、いつでも見られる場所に掲示しておく。</p> <p>◎始めにしたいと思っていたことができても、さらに次のしたいことを決められるように、できて嬉しい気持ちを認めながら次の目標を聞いたり、少し難しいことを提案したりする。</p> <p>◎こまを投げたりボールやフープを使ったり、けん玉をする時など、遊具や技に合わ</p> |

|  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友達に見てもらおう</li> <li>友達がしたいことに向けて頑張る姿を見たり聞いたりする</li> <li>友達のできるようになったことや頑張っていることを見たり、頑張りを聞いたりする</li> </ul> | <p>勢や力の加減、体の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを取り組みながらつかんでいったり、それらをする楽しさを感じたりする⑩</p> <p>○できなかったことや難しいと思っていたことができるようになった、上手になったなど前とは違う自分を感じて自信をもつ③</p> <p>○友達がしたいことに向けて挑戦している姿を見たり聞いたりして、友達の頑張りやよさを感じたり、今まで知らなかった個性を知ったりする⑤</p> <p>○困っている友達に気づき、友達のために声をかける、待つ、励ます、教えるなどしようとする⑦</p> | <p>せたの姿勢や持ち方、身体の使い方、動かし方、力加減を感じたり、考えたり、試したりできるように、一緒にしたり、やってみせたり、できる友達の姿勢や動きを見せたり、コツを具体的な言葉にして知らせたりする。</p> <p>◎前の自分と比べてできるようになっている、上手になっていると思えるように、それぞれがどこまでどんな風できているのかを把握しておき、前よりどんなところができるようになったのか具体的に言葉にして褒める。</p> <p>◎できるようになった自分に自信をもてるように、できるようになった、上手になったことをみんなに紹介したり、披露する機会を設けたりする。</p> <p>◎友達の頑張りやよさ、今まで知らなかった個性を感じられるように、友達が挑戦している姿をみんなで見る機会を設けたり、これまでの頑張りを具体的に言葉にして知らせたりする。</p> <p>◎友達のためにできることを考えられるように、困っている友達がいることを知らせたり、どうしたらいいのか一緒に考える時機会を設けたり、待つてできそうな時は、待つてあげてことを提案したりする。</p> |
|--|--|---|

| D【発表会でお家の人や他学年に見てもらおう】  |  |  |
|---|--|--|
| 予想される子どもの活動   | ねらい  | *環境の構成 ◎教師の援助  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>発表会の日やお家の人、他学年と友達や先生が見に来てくれること、お家の人が見る場所を聞く</li> <li>見てほしいところや頑張りたいことを言う</li> <li>発表会でお家の人に見てもらおう</li> </ul> | <p>○発表会でお家の人、他学年の友達、先生お家の人に見てもらおうことに期待をもつ①</p> <p>○見ている人に分かってもらえるように挨拶を入れたり、大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりするなど、表現の仕方を考えたりやってみたりする楽しさを感じる⑩</p> <p>○見ている人に見やすかったり見えなかったりするよう、道具を置いたり隠したり立ったりする位</p> | <p>◎発表会で他学年の友達、先生、お家の人に見てもらおうことを楽しみにできるように、参観等をきっかけに、お家の人にお話を見てもらいたいという思いを共有したり、お家の人にいつ見てもらおうかやどこで見ようかを知らせたり、先生や他学年の友達が来てくれることを知らせたりする。</p> <p>◎見ている人に分かってもらえるように表現することを意識して表現の仕方を考えたり考えたことをやってみたりする楽しさを感じられるように、大きな声やはっきりとした表現、体の向き等を受けて表現したいことがよく伝わったことを知らせたり、友達がしているごっこ遊びを見たり見てもらったりしてどう思ったか伝え合う機会をつくったり、言ってもらったことを意識して変えている姿を言葉にしたりする。</p> <p>◎見やすさを意識して道具を置き方や立ち位置等を考えられるように、客席から見て感じたことを伝えたり、客席から見る機会を設けたり、見てどう思うか尋ねたり、撮</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>置や向きを決めたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする⑱</p> <p>○楽しんでいることや頑張っていること、できるようになったことをお家の人に見てもらったり拍手をもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思ったり、頑張った自分に満足したりする③</p> | <p>影した動画や静止画を見せたりする。</p> <p>◎お家の人に見てほしいところや頑張っていることを意識できるように、見てほしいところや頑張りたいことを聞いたり、頑張っているところを褒めたりする。</p> <p>◎頑張った自分に満足できるように、これまでの頑張りや今日の頑張りや結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを褒める。</p> <p>◎お家の人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、お家の人や拍手してくれていたこと笑顔で見せてくれたことを伝えたり、お家の人に笑顔や拍手で励ましたり、具体的に褒めたりしてもらえよう伝えたりする。</p> |
|--|--|--|